

月刊 リサイクル デザイン

No.159 ● 2007.12 <http://www.recycledesign.or.jp>

特集

リサイクル
デザイン
フォーラム2007

みんな
あつまれ!

リサイクル ランド



テルちゃんの明日天気になあれ 11

れきしよもやまばなし 12

尚美のマクロビオティック 13

合言葉は
「もったいない」 ♪

RECYCLE
Design

リサイクルデザインフォーラム2007

10月28日
横浜港大さん橋ホール
にて開催しました

みんなあつまれ、リサイクルランド

おとなと子どもが一緒になって、そして私たちリサイクル業者と市民のみなさんが共にリサイクルや環境について考えるきっかけにしたい、そんな思いから始めたイベントです。

夏休みに市内の小学生が描き応募してくれた環境絵日記の展示や受賞作品の表彰式、リサイクルについて楽しみながら学べる出し物、工作体験など盛りだくさんの一日でした。

はじめに

横浜市資源リサイクル事業協同組合
理事長・秋元康男



リサイクルデザインフォーラムは今年で13回目、環境絵日記の募集は8回目を数えます。毎回、市民のみなさんが環境やリサイクルのことを熱心に考えてくださっているということが絵日記から伝わってきて、たいへんうれしく思っております。一所懸命に準備を重ねてきましたので、今日の一日をどうぞ十分に楽しみなさい。

題名 ゴーヤですずしくな～れ



徳野地洋さん（旭区・本宿小2年）

リサイクルデザイン大賞

環境絵日記発表会・表彰式

9月22日の一次選考会で市民審査員からの得票数上位の作品473点を「リサイクルデザイン賞」とし、さらに審査を重ねて次の8作品を選び「特別賞」に決定しました。

8月27日 月曜日 天気晴れ

毎年、夏になるとお父さんとお母さんのバトルがはじまる。あつがりのお父さんは、ちよっとあついとエアコンをすべつける。さむがりのお母さんはひえすぎると言っておどります。エアコンなしでへやをすずしくするにはどうしたらいいか考えていたらお姉ちゃんが「フリーンカーテン」のことを教えてくれた。まどの外などにするのしよくぶつをさえるとおまの光をさえぎすずしくなるそう。ぼくはやってみようと思つた。ゴーヤにきめた。くいしんぼうのお父さんが大うぶつなのであつてもがまんしてくれと思つたがらだ。土にお姉ちゃんが生「ゴ」で作ったたいひをまぜて「ゴーヤ」のたねをまいた。ゴーヤはどんどん大きくなってまどの外は、はっぱでいっぱいになった。ゴーヤの赤ちゃんもまどからのぞきはじめ、すぐに食べられる位大きくなった。思つたとうりお父さんは「おいしい」とおよろこび。お母さんは、はっぱがレースもようみたいできれいだとかんがえていた。

今年はとくべつあつい夏だったけど、きょうよりエアコンをつける回数が増えた気がする。バトルの回数も、みんながよろこんでくれたので、らい年もまた「フリーンカーテン」にチャレンジしたい。

● クーラーの温度設定でバトル、私も経験ありますよ。たいへん身近な環境問題ですね。グリーンカーテンのおかげでそれが解決した、とてもいいですね。

当組合理事長・秋元康男

横浜市長賞



森岡賢一さん（神奈川区・三ツ沢小5年）

題名 心がけ

●たいへんインパクトのある絵です。背景の細かい線までよく観察していますね。日記の内容もすばらしい。

当組合理事長・秋元康男

8月26日 日曜日 天気晴れ
私の日常生活では、リサイクル出来る物は、分別しています。それを、きちんと出していけば問題は、有りません。決められた様に、出さない人が迷わくをかけています。ゴミとして捨てる人は、もっと、悪いと思います。
理想のリサイクルは、まだ考えられないけれど、買った物に、最後まで責任を持って扱っていく、そして今やらないければ、ならない事、出来る事を、続けていきます。

横浜市会議長賞



金田夕奈さん（南区・南小5年）

題名 みんながニコニコ😊
おもちゃのリサイクル！

●妹さんと仲良しなんですね。幼稚園の子に使ってもらおうという発想がいいです。これからもういう気持ちを大切にしてください。

横浜市会議長・藤代耕一さん



8月20日 月曜日 天気晴れ
夏休みになって子ども部屋のそうじをしていたら、「ころっ」って出てきたのは昔なつかしのおもちゃ。そうじをするのも忘れ「なつかしいな」と手にとって遊んでいたら、ママが「いらないものは、捨てなさい！」と書いてごみブクロを持ってやって来ました。まだ使えるのに捨てちゃうなんて悲しいな。そんな幼稚園の子ともたちにあげようね。妹に話すとニコニコ、ママも賛成してくれました。おもちゃは、汚れていなくて、すぐに使える物、ぬいぐるみは大事にしまっておいて未使用の物を減らして持っていくと「ありがたう」と幼稚園の先生たちとはとても喜んでくれたので、うれしかったです。
今までいっしょに遊んで楽しかったよ。ありがたう。私たちは大きくなったけど、今度は新しい幼稚園のお友達がいっぱい遊んでくれるといいね。私と愛未はいつまでも手をふり続けました。

横浜市資源循環局長賞

坂内佳菜子さん（旭区・南本宿小4年）



そーらーかー
題名 ゴミで走るよ！ 空色車

●食べ物で車を動かし、雨水さえもむだにしないなんてすごいアイデアです。いろんな知恵を出し合うと、将来実現するかもしれませんよ。

横浜市資源循環局資源化推進部長
白崎勇紀さん



8月19日 日曜日 天気晴れ
わたしは、ゴミで走る車があったらいいなあと思いました。家を出たゴミをタンクにためておくと、車のねん料になるのです。空色の車の屋根には、やかんがのっかっている。雨の日にはやかんのふたが自動で開いて雨水をためるのです。その水は、車に作った花だんの水やりに使います。残った水は、天気の良い日に太陽熱でお湯をわかし、車内で紅茶が飲めるのです。こんな車で家族でドライブしたら、楽しいだろうなあ。
ゴミは、ガソリン代わりになるだけではなく、しょう来は、うちゅう旅行へ行くロケットのねん料にもなったらいいなあと思いました。

横浜市教育委員会賞



両角香織さん（港北区・菊名小3年）

題名 おばあちゃんの作った、エコぞうり

●おばあちゃんの優しさが、足元から伝わってくるんですね。エコぞうりの良さをお友だちにもおしえてあげてください。

横浜市教育委員会教育課指導主事
藤城守さん



8月11日 土曜日 天気晴れ
今日、おばあちゃんが「これ、作ったの。はいてね」と言って、くれたのはめのであんだ、かわいいぞうりでした。
このぞうりは、古いTシャツを細く切り、あんで作るぞうりです。はくと、やわらかで、ゆかのほこりもとてくれます。よごれた後にはせんたくもできます。いいところだけです。おばあちゃんのやさしさも足から、伝わってくるようです。



横浜資源化協議会賞

松本結衣さん（神奈川区・神奈川小3年）

題名 カンリサイクル花のタネ

●とっても明るい絵です。町をきれいにしたい、という気持ちから生まれたアイデアなんですね。

横浜資源化協議会副会長
橋本登喜江さん



8月20日 月曜日 天気晴れ
道ろに、カンが二こころがつていました。カンを捨てるところが近くにありません。
もし、道ろに、拾ったカンを入れるきかいがあったらいいなと思いました。
そのきかいからかわりにお花の種がでてきたら、うれしいです。
どんな花がさくのか楽しみだし、町がお花で、いっぱいになったらきれいだからです。

旭区
鶴ヶ峰小学校（34作品が受賞）



神奈川区
三ツ沢小学校（44作品が受賞）



学校賞

学校賞はリサイクルデザイン賞受賞者が多かった学校をたえる賞です。今年は3校が受賞しました。

選考委員会特別賞



梶野玲奈さん（中区・本町小1年）

題名 やさしいかぜ

●本当にいやされますね。
選考委員一同、「やさしいかぜが
ふいたらいいな」というフレーズ
にしばれました。

(株)ダイナックス都市環境研究所所長
山本耕平さん

[illegible][illegible]

選考委員会特別賞



片桐麻実さん（港北区・綱島小4年）

題名 生ごみのリサイクル

● 広告の紙で作ったちぎり絵ですから、長い時間がかかったことでしょう。ていねいに仕上げてありますね。

(株)ダイナックス都市環境研究所所長
山本耕平さん



選考委員長
山本耕平さん

何年もずっと審査員をしています
が、毎年、審査するのをとても楽しみにしています。絵の訴える力は大きいですね。絵日記から、みなさんが家族で協力している姿が伝わってきます。今年のテーマは「未来のリサイクル」ですが、子どもらしい、大人がハッとさせられるアイディアがたくさんありました。お母さんやおばあちゃんとのエピソードが多かったようなので、来年はお父さん、おじいちゃんにもがんばって絵日記に登場していただきたいですね。

環境絵日記・総評

青葉区
あざみ野第一小学校（26作品が受賞）



あっちこっちでいろいろなお楽しみ！

大さん橋ホールは、前面に広々と海を望む大きなガラス窓のある会場でした。

来場者数は、昨年よりも800名ほど増えて約5000名。

台風一過の日曜日、夕方までたいへんにぎわった当日の様子をお知らせします。

みんなが分
けてくれた
古紙が、ト
イレットペ
ーパーに生
まれ変わリ
ます



古紙

スーパーから借りたカートを集集車に見立て、古紙を入れてもらいました。

古紙、びん、缶、ペットボトルの リサイクルツアーズ

これは「びん」
として出して
いかな？ 化粧
品のびん、陶磁
器など大人でも
間違えてしま
いがちな物が写
ったカードを使
って、子ども
もたちに正し
い分別につ
いて話し
ました。



びん

集めたびんは、
くだいて溶か
してまたびん
にするんだよ。
びん以外の物
が混ざるとた
いへんだから
気をつけてね



選別のあと、
ギョウとプ
レスしてこ
ういう形に
なるんだよ。
磁石がくっ
つくほうが
スチールの
スクラップ



缶

アルミ缶とスチール缶の見分け方や、
リサイクルのためにはきちんと分け
ることが大切だという話のあと、ど
んなものか
まね変わるか
を解説した
ビデオを見
ました。



7、8人のグループごとに子どもたちが順路を進みながら、家庭から出る資源物がどのように再生されていくのか知ってもらおうツアーです。古紙、びん、缶、ペットボトルの4種類のリサイクルの仕組みを、ふだん回収や選別にたずさわるリサイクルのプロたちが手作りの道具やパネル、ビデオなどを使って説明しました。子どもたちへの説明に奮闘するスタッフの姿を、付き添った家族が見守ってくれました。

リサイクル工作コーナー

《竹のブンブン》

竹片に少しやすりをかけ、子どもたちが自由に色をつけました。穴に糸を

通せば、ブンブン

回るおもちゃが完

成。初めての子

は回すのがちょ

っと難しそうで

したが、すぐに

コツをつかん

だようです。



《ハギレの金魚》

ちりめんの布のハギレで貝がらをくるみ、尾ひれと背びれをつけて合わせるとかわいい金魚のできあがり。ペットボトルを輪切りにし

た枠にぶら下げると、壁飾りにもモビールにもなります。



リユースびんブース

再生（リサイクル）

でなく再利用されて

いる環境優等生のリユース

びん。もっと利用してね、

の気持ちをこめて輪投げ

ゲームを用意しま

した。よく知ら

れているビール

びんだけでなく

コーラやウイス

キー、焼酎など結構いろいろあるんです。



空き缶つりコーナー

アルミ缶とスチール缶のつたビニールプールの中に磁石のついた糸をたらず、缶つりゲーム。磁石でつれるのはアルミとスチールのどっちかな？



ペットボトル

ペットボトルのコーナーでは、16歳から24歳までのボランティアグループの青年たちがスタッフに加わりました。どうして本体からキャップとラベルをはずさなくちゃいけないか、という掘り下げた説明も。



金属のリサイクルブース

金属類のリサイクルについて分かりやすく説明したパネルを展示しました。



りくみちゃんのお絵かき＆ぬり絵コーナー

りくみちゃんの作者・勝野真美さん登場！

鈴を鳴らしながら

絵かき歌を披露して、

子どもたちにりく

みちゃんの描き

方をおしえてく

れました。ぬり

絵にもおおせ

が参加、りくみ

ちゃんは大人気

でした。



主役にと裏方にと大いそがしの勝野さん

リサイクルデザイン賞の展示と 協賛・協力してくれた仲間たち、などなど……



三菱鉛筆ブース

樹齢100年のホワイトオーク材でできたウイスキー樽。樽として50年働き、その後リサイクルされて生まれたボールペンとシャープペン「ピュアモルト」を展示しました。150年以上の時を刻んだ木からは、自然の温もりが伝わってきます。定価1050円から各種、文房具屋さんで探してみませんか？ ほかに、端材をつないだ鉛筆もありました。

お菓子やお弁当、飲み物などを販売してくれました。「スリーエフは横浜発祥のコンビニなんです。今日は9割以上のお客さまがレジ袋は要らないとおっしゃいました。ふだんは1、2割ですから驚異的です。来場者のみなさん、環境保護への意識がしっかりしているんですね」と店長さん。

スリーエフブース



丸富製紙ブース

「りくみのトレレ」「りくみのティッシュ」を作っている製紙会社です。古紙を溶かした状態のものを見せながら「100%再生紙のトイレットペーパーを使うことで、リサイクルの輪ができるんです。これはりくみのトレレの元の姿です」と来場者に説明してくれました。



環境絵日記リサイクルデザイン賞 受賞作品の展示コーナー



10月28日 日曜日 天気 晴れ

今年の環境絵日記の応募総数は、過去最高の7466作品。2回の選考会で勝ち残ったリサイクルデザイン賞受賞473作品を会場に展示しました。自分の絵日記の前でお父さんに記念写真を撮ってもらおう子、作品に引き寄せられるようにじっと見る子、「すごいねえ、じょうずだねえ」と感心しながら孫と歩くおばあちゃん……。絵日記には「うしのゲップでお風呂をわかせばいい」「私の大好きな魚が生きられるように水を大切にしよう」「お父さんがイラン人。石油が戦争や温暖化の原因になることが心配、どの国にもどんな生き物にも平和な地球であってほしい」といった心に残る言葉がありました。



りくみグッズやトイレットペーパーなどを直売しました。シャープペンシルや定規が大人気。ちなみに、今年初めて登場したのは「りくみの扇子」でした。

リサイクルデザイン オリジナル製品販売コーナー

新聞・チラシ、または雑誌を会場に持ってくる、重さに応じてエコマネーと交換しました。エコマネーは、同じ日に桜木町のバシフィコ横浜で開かれていた「だがしや楽校」でつかえるお金。100人以上の方が持ち込んだ新聞・チラシの重量は390kg 雑誌は110kg 合計500kgにもなりました。

資源物交換コーナー

学校等アルミ缶もったいないプロジェクト 車いす交換式

アルミ缶200kg（約1万2000個）を集めると車いす1台と交換できるこのプロジェクトには、市内の多くの学校や団体が取り組んでいます。最近、目標の重量を達成した4つの学校に車いすが贈られました。（プロジェクトでは、車いすと交換せず換金して別の用途に遣うこともできます）



青木小学校（神奈川区）

「みんなでがんばって集めて、車いすに交換できてとてもうれしいです」



下郷小学校（戸塚区）

「家族や地域の人たちの協力のおかげです。私たちは喜ぶだけでなく、周りの人たちに感謝したいと思います」



小机小学校（港北区）

「近くのケアセンターに寄付します。これからも続けていきます」



西寺尾小学校（神奈川区）

「今年度、2回目の車いす交換です。またもらえるようにがんばります」



10月28日 日曜日

子ども環境会議「リサイクル寺子屋」

リサイクルすればそれでいいのかな？

特別賞を受賞した子どもたち8名が生徒役になって、寺子屋を開きました。

先生役は、リサイクルデザインの出前講師としておなじみの戸川孝則。

リサイクルについて子どもたちと一緒に考えてみました。



徳野ひろさん
(小2)

金田ゆうなさん
(小5)

寺子屋の先生
戸川孝則

両角かおりさん
(小3)

梶野れなさん
(小1)

森岡けんいちさん
(小5)

坂内かなこさん
(小4)

松本ゆいさん
(小3)

片桐あさみさん
(小4)

みんなの絵日記のこと

先生：ちひろくんの絵日記はお父さんとお母さんのクーラーボトルがきつかけだったよね。今年の夏はどうだった？

ちひろ：クーラー

をあまりつけなくなって、バトルも減った。

先生：夫婦円満？

それはよかった！ けんいちくんはバトルボトルを描いてくれたね。

けんいち：日本では石油がとれないのに、石油で作るペットボトルをこ

みにしてはいけないと思う。

先生：石油がもったいないね。ゆうなちゃんはおもちやがもったいないと思っただけね。

ゆうな：幼稚園の子が喜んでくれてよかったです。

先生：かなこちゃんはどうしてごみ

で走る車を思いついたの？

かなこ：ごみの焼却場に行ったとき、たくさんのごみを何かに使えないかなと思って。

先生：すごい発想だねえ。かおりちゃんのエコぞうりはおばあちゃんのお手製だね。

かおり：はい、とてもはき心地がいいです。床のほこりも取れるし、汚



れたら洗たく機で洗えます。

先生：おばあちゃんに作り方を教えてもらおうといいね。

ゆい：私は、学校の帰りに空き缶が転が

っているのを見つけて、空き缶が花の種

になればいいなと思

いきました。その辺は花が咲いて

いないし……。

先生：お花が大好きなんだね。さて、れなちゃん、絵日記にあるようにやさしい風がふくとどうなるの？

れな：お花が咲いたりみんながやさしく楽しく暮らせます。

先生：やさしい風っていいねえ。あさみちゃんのはり絵もやさしい風合

いだね。
あさみ：広告の紙を使って、おばあちゃんが生ごみをたい肥にしていることを絵日記にしました。

自然がこわされている？

先生：未来には、どんな世界になってほしい？

ちひろ：植物がいっぱいの世界。

けんいち：ごみが

ない世界。

かなこ：自然がいっぱいの世界。

ゆい：花がいっぱいの世界。



れな：やっぱり、やさしい風がふいてみんなが楽しく仲良く暮らせる世界。
先生：みんな、自然がこわされているって感じるのかな？ なぜ？
けんいち：家を建てるために木を切ってしまうから。
かおり：お姉ちゃんの本に、アマゾンの森林が減っているって書いてあったから。
あさみ：都会にはビルがいっぱいで木が少ないから。
先生：でも、ビルや家や道路が無かったら暮らせる？
かおり：暮らせない。
先生：じゃあどうしようか。
ゆい：木を切ったところには種を植える。
かおり：木で物を作らない。
先生：たとえばイスを作る場合、木とプラスチックのどちらを使う？
かなこ：木を使うと自然が少なくなるのでだめ。
けんいち：木を切るための森をつくり、その木で作る。
ちひろ：落ちていたごみで作る。
かなこ：プラスチックはリサイクル



それ行け！
りくみちゃん 作・勝野真実 【第36話】



先生：みんな、リサイクルツアーズに参加して、リサイクルには手間もお金もエネルギーもかかることがわかったね。だから、リサイクルするからどんどん使っていくというわけじゃないんだ。プラスチックの原料の石油はあと何十年かで無くなってしまう。木がプラスチックか、この場合はどっちがいいのかわかってきていくことが大切なんだ。さて、自然いっぱいの未来を作るにはどうしたらいいのかな。たとえば、ごみのポイ捨てはダメっていうことをどうやってみんなに伝える？

やさしい風がふく未来のために

ルされるので、プラスチックを使う。
あさみ：プラスチックの原料の石油は限りがあるけれど、木は植えればいくらでも作れるから木を使ったほうがいい。



ゆうな：決まり事を守ろうって、イベントで伝える。
あさみ：誰かがやっているからいいや、じゃなくて、わかった人が伝えていく。
かおり：自分でできることを努力してやる。
けんいち：ひとりひとりが心がけをもって、いいことを続けていく。今ここで聞いている人だけでも環境に良いことをやる。
先生：物をできるだけむだにせず、大切に長く使うことをリデュースと言います。これが一番大事で、次がくり返し使うこと、リユース。最後にくるのがリサイクルです。暮らしの中にこの順番を活かしてください。1年生のれなちゃんの言葉「やさしい風」がふいて、みんなが仲良く暮らせる未来のためにそれぞれが考えていきましよう。



閉会のごあいさつ

ご来場くださったみなさん、そしてたくさんの方の協賛企業のみなさん、ありがとうございました。今回は展示の不手際がありご迷惑をおかけしましたことを、深くおわび申し上げます。これからも、リサイクルというキーワードで市民のみなさんとながらる協同組合として、このイベントを続けていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願っています。



フォーラム2007実行委員長
 栗原清剛

落ち葉の 下の微生物



フェリス女学院大学・准教授、
1971年生まれ、東京農工大学環境・
資源学科卒業、農学博士



筆者が見つけた、新種と思われる糸状菌の顕微鏡写真 10μm

横浜あたりでは12月が紅葉と落ち葉の季節ですね。この世の中が、落ち葉だらけにならないのは、土の中の微生物が

1926年に英国のフレミング博士が発見した人類初の抗生物質「ペニシリン」は、青カビ（ペニシリウム属の糸状菌の一種）がつくり出したものです。最近でも、血中のコレステロールを下げる薬や臓器移植のときの拒否反応をおさえる薬など、もともと土の中にいた微生物が由来のヒット商品はたくさんあります。

の微生物が落ち葉を分解してくれるからですが、その存在をふだん私たちはほとんど意識しないと思います。微生物による恩恵のひとつとして、医薬品があげられると思います。代表的な例は、抗生物質でしょう。

ところで、葉をつくる微生物を自然界から探すときには、成長が速いものではなく、なるべく成長が遅いものを選び出すのがコツです。つまり、成長が遅い微生物は、特殊な能力を持っていて、何らかの特別な物質を体内でつくるために、成長するほうに栄養がまわらないのです。自分の身を守るために、このような物質をつくると考えられています。これを人間がたまたま薬として発見して、ありがたく利用させてもらっています。いっぽう、成長が速い微生物というのは、特別な物質をつくらずに体となる細胞や骨格をつくるので、どんどん成長できるわけですが、環境微生物学の研究をしていて「微生物はおもしろいな」と感じたことのひとつです。

この微生物の性質は、人間にも当てはまるのではないかと考えてなりません。ある人の能力、たとえば体格の大小や学校での成績を面的に評価するのではなく、さまざまな特別な個性も大事にしたいものです。一見すると無駄のような能力でも、どのような可能性を秘めているかわかりません。わたし自身、先人がやったことのないような領域を探索する研究者になりたいし、また同時に、学生の多様な能力を伸ばす教育者にもなりたいたいと思っています。

読者アンケートに
ご協力を！
メールを
お待ちしております

今月号いかがでしたか？ これまでの号も含め感想をお寄せください。
Eメールのみでの受付となりますが、たくさんの感想をお待ちしています。

アンケート内容

1. リサイクルデザインで取り扱ってほしい事
2. 今月号の感想

メールの件名を『リサイクルデザイン読者アンケート』とし、アンケートの質問番号の後に回答をお書きください。お名前(フリガナ)・郵便番号・ご住所・年齢・性別・職業をお忘れなく。(HPからの方が簡単です) 抽選で10名様にりくみちゃんシャープペンとノートのセットをプレゼントいたします。

Eメール
mail@recycledesign.or.jp

HP

リサイクルデザイン

検索

斉藤司でございます



れきし
よもやま
ばなし

1960年
神奈川県
横須賀市生まれ。
横浜市歴史博物館
学芸員

詫び証文と

「仍て件の如し」

江戸時代の村々の名主や庄屋を勤めた旧家には、「古文書」とよばれる多くの書類が残されています。その内容は、村の行政にかかわる公的なものから、家の冠婚葬祭などといった私的なものまで、多岐にわたります。こうした古文書には一定の書式があり、たとえば書止といわれる文末の文言は、書状（手紙）の場合は「恐惶謹言」、証文（書類）のときは「仍て件の如し」（「よってくだんのごとし」と読みます）。

当時の村は、稲作を中心とする農業生産の単位であるとともに、いろいろな相互扶助を行う生活共同体でもありました。そのため、村人同士の悪口雑言や喧嘩といった事件が起こると、村内の有力者や寺院の住職などが仲裁に入り、問題を起こした者から相手方へ詫び証文を提出させ落着させるのが一般的でした。

詫び証文には、喧嘩をしかけた本当の理由が書かれることはなく、大部分の場合は「酒を飲んで酔ってしまい」と記されています。日常的に顔を合わせる生活環境の中では理由を明示しない方が好都合ということなのでしょう。とはいえ証文の末尾が「仍（酔？）て件の如し」ですので、本当に泥酔した酒癖の悪さが原因だった場合も多少はあるのでしょうか。



お歳暮にいかがですか？

お歳暮



地球にやさしい再製品の詰合せ

りくみちゃんマークの入ったのし紙でお送りします。

りくみのティッシュ
(200組・400枚)
…3パック (5箱入り)

りくみのトレペ
(130mシングル)
…4パック (6ロール入り)

×3

×4

小結くん
おためし巻
…1巻 (30m)

2,800円
(送料・消費税込み)

詰合せの箱サイズ 横460mm×縦460mm×高さ355mm

●ご注文、お問い合わせは…横浜市資源リサイクル事業協同組合 TEL045-444-2531



津村尚美

プロフィール
1955年生まれ
(有) ナチュレ企画代表
フェアトレードショップ
「まあじょうむ」を経営
中に料理に目覚める。
つぶつぶクッキング研究
生を経て現在マクロビオ
ティック講師。著書「エ
スニック料理」



マクロビ料理術は、素材の持ち味、生命力を活かすテクニックでそれを身につけさえすればあらゆる料理をおいしく作る事ができます。

陰陽を具体的にによりわかりやすく説明したいと思い、あれこれ本を読んでいるとますます難しくなってお手あげ状態になってきました。まず体質を4つに分けて、今のあなたはどのタイプなのかを把握して下さい。太っていますか？ やせていますか？ どちらかという色白でポッチャリ肥満の方は陰性で、固太りの元氣そうに見える方は陽性です。やせて今にも消え入りそうな方は陰性で、カチカチに締まった筋骨型は陽性過多です。どのタイプも片寄っていて、その傾向はますます強まっています。特に陰性のやせ型の方は陰も陽も不足しており、吸収が悪いので、食べ方に工夫を要します。

一週間単位、自分が何を食べたか飲んだか記録してみると、食の傾向がわかります。動物性の物を多く食べると陰性の甘い物が欲しくなり、野菜好きだからいいわと言って、生野菜ばかり食べていると水分過多の陰性になってしまいます。体がかわいているという事は、体内の血液も体液も細胞もかわいているという事をお忘れなく。

れんこんは、陰性でもなく陽性でもない中庸の野菜です。

れんこんをすりおろして加熱すると、おもちのようにモチモチできます。その性質を利用したお料理を紹介します。

特にふしの部分は大切。絶対に捨てないで！

うなぎもどき

材料(4人分)

れんこん 150g
しいも 50g
塩 小さじ1/4
地粉 適宜
のり 1枚
揚げ油(なたね油50%、
ごま油50%) 適宜
照りじょうゆ
昆布出し汁 大さじ1.5
しょうゆ 大さじ1
しょうが絞り汁 小さじ1/2
本くず粉 小さじ1/2
水 小さじ1/2

作り方

- 1) れんこん、しいもを皮ごとすりおろす。(れんこんは、ふしもすりおろす)
- 2) 1) に塩と地粉を入れ、耳たぶより少しやわらかめの生地を作る。
- 3) のりを8つに切り、のりの上に2) を平らにのせる。
- 4) 油を170度に熱し、のりを下にすべりこませる。浮いてきたら裏返し、少々濃いめのきつね色に揚げる。
- 5) 本くず粉を同量の水で溶いてから、照りじょうゆの他の材料とともに鍋に入れ、木べらで混ぜ、とろみがついてきたら4) を入れて煮からめる。

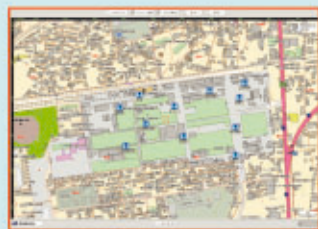
れんこんハンバーグ

すりおろしたれんこんに、みじん切りにした玉ねぎやニンジン、木の子類を適当に入れ、塩、コショウで下味をつけ、地粉をつなぎにし、小判型に形を整え、油をしいたフライパンで両面を焼く。



NEWシステム登場

ボディー計量システム連動 **フジマイティ** 運行管理システム
高性能GPSによる塵芥収集車の運行管理がリアルタイムで可能



© Zenrin Co.

インターネット



サーバ



INFORMATION

リサイクルデザインはこんなこともしています

■最近の活動報告■

リサイクルや分別の仕組みについて知りたい、アルミ缶集めに取り組みたいというたくさんのご要望にお応えする当組合の事業あれこれ、詳細はホームページにあります。ご質問やお申し込みは当組合までどうぞ。

■リサイクルポート山ノ内見学会

(山内埠頭にある当組合施設の見学会、無料)

10/2 師岡町内会
10/9 泉区親子見学会
10/18 戸塚区消費生活推進員

■出前講師 (リサイクルや3Rに関する講座、無料)

10/4 飯島小学校 (栄区)
10/11 青葉区消費生活推進員
10/16 西区食生活等改善推進委員
10/17 南区消費生活推進員
10/18 もえぎ野小学校 (青葉区)
10/30 大岡小学校 (南区)

■学校等アルミ缶もったいないプロジェクト

(アルミ缶を車イスなどに交換する活動)

●100kg以上集めた学校及び車イスと交換できた学校

10/2 小机小学校 (港北区)
10/3 三ツ沢小学校 (神奈川区)
10/4 希望が丘中学校 (旭区)
10/12 竹山小学校 (緑区)
10/15 下郷小学校 (戸塚区)
10/16 西柴小学校 (金沢区)

月刊リサイクルデザインはここにあります

●グリーンバザール (南区六ツ川) ●地酒 篠原屋 (港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店 ●港南台店 ●大口店 ●二俣川店 ●緑園都市店 ●いずみ中央店 ●山手台店 ●白根店 ●モザイク港北店 ●六ツ川店 ●釜利谷店 ●和田町店 ●左近山店 ●瀬谷店 ●いずみ野店 ●弥生台店 ●笹山店 ●東寺尾店 ●ひかりが丘店 ●希望が丘店 ●並木店 ●南まきが原店 ●南瀬谷店 ●ひなた山店 ●磯子店 ●オルト新子安店 ●十日市場店 ●上星川店 ●鶴ヶ峰店 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店 ●金沢シーサイド店 ●カフェ社 (港北区日吉) ●うどんカフェ (青葉区こどもの国) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生協同組合大会館店 ●工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会 (中区尾上町) ●リセールショップ遊民 ●WEショップ旭 ●WEショップかながわ大口店 ●WEショップかながわ六角橋店 ●WEショップこうほく ●WEショップほどがや天王町店 ●WEショップちがさき店 ●WEショップちがさき十間坂店 ●リサイクルショップブランカスタ (西区) ●WEショップ・あおばあざみ野南 ●トヨタカレリア本牧店 ●JA横浜みなみ総合センター (泉区中田西) ●東急ハンズ横浜店 (西区) ●とりでん長津田店 (緑区)

リサイクル標準価格表

2007年10月現在 日経10/25

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	0円	11~12円
雑誌	0円	8~9円
段ボール	0円	10~11円
衣類くず	設定不能	0~1円
アルミ缶	* 10~15円	

★集団回収には「買入価格」を適用。*スチール缶と選別済みの価格★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。取引条件により多少変化します。★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。★段ボールは必ず束ねて出してください。

サポーター募集中！対象：横浜市内在住の方

3R (リデュース、リユース、リサイクル)、環境問題などに関心のある市民 (個人および団体) の登録をお待ちしています。登録無料、年会費など一切かかりません。自治会がサポーター登録し、会員に配付している地域もあります。サポーターになると……

・最新号を毎月お届けします

・本誌主催のイベントのご案内をお送りします

申し込み方法は当組合までお電話ください。
TEL 045-444-2531

おたより募集中！編集室では皆さまからのおたよりを首を長くして待っています。郵便、ファックス、Eメール、なんでもけっこうです。

編集室から

皆様のおかげで、リサイクルデザインフォーラム2007を無事終了することが出来ました。当日は、4800名を超える過去最多のお客様にご来場いただき、実行委員一同、大変うれしく思っています。また、環境絵日記にも7466作品という過去最多のご応募をいただき、心から感謝申し上げます。

私たち実行委員にとって、毎年多くの皆さんにご参加いただいていることは、大きな喜びでもあり励みです。実行委員一同、このイベントをきっかけにお会いできた皆さんと、「将来、一緒により良い環境行動都市・横浜をつくっていききたい」という思いを忘れずに、日々の事業においても成長していきたいと考えています。

今回得た大きな教訓と希望を胸に、また来年も、皆さんに喜んでいただけるイベントを作っていけたらと思います。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。(栗原清剛)

月刊リサイクルデザイン No.159

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地

TEL045-444-2531/FAX045-444-2532 (編集室)

発行日：2007年11月25日 発行人：秋元康男

編集人：工藤健一 編集室：戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会：山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継・杉山

宜利・芦澤博志・宗村隆寛・栗原清剛・大内敦・船崎健

制作：(企)エコ・アド 印刷：(株)横浜プリント

詳しいことは 横浜市資源リサイクル事業協同組合 (通称リサイクルデザイン)

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2532

●広告は随時募集しています
お問い合わせは左記へ